



成果指標				
成果指標	下水道事業受益者負担金(現年度分)と下水道使用料(現年度分)の徴収率。			
指標設定の考え方	前年度(現年度分)の徴収率と比較し、向上をさせることで事業執行の安定化			
区分年度	24年度	25年度	26年度	
目 標	98.28	98.82	0	0
実 績	98.82	98.73	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	接続促進に今後も努める。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	3	C
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	個別訪問などで接続促進が図られており、今後も継続した取り組みを期待する。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。
意見、課題	コスト削減及び使用料の徴収率向上に努めると共に接続率の向上にも努力する必要がある。

行政評価委員会の答申

外部評価  
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

下記の点を見直しの上、継続する。

意見、課題

二次評価の内容を踏まえ見直すこと。